

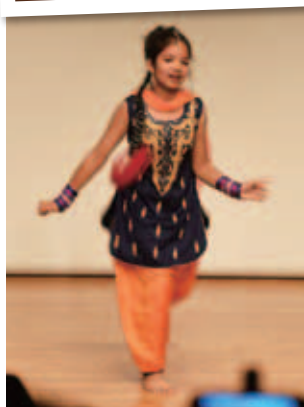
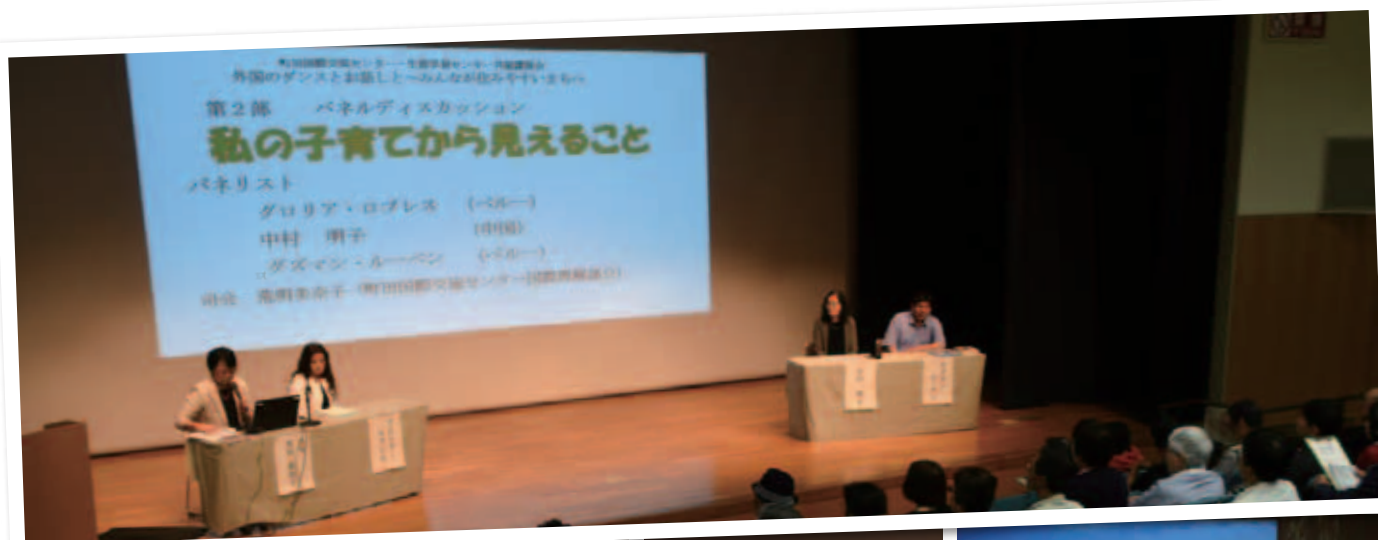
～町田国際交流センターだより～

外国のダンスとお話と

5月19日(日) 町田市生涯学習センターとの共催で「外国のダンスとお話と」と題したイベントが開催されました。第一部はインドの少女のかわいいダンス、二胡の演奏とペルーのダンスを楽しみました。二胡の演奏は日本人の原田さんでしたが、今までの二胡のイメージが変わるような楽しい演奏でした。ペルーのダンスはきらびやかな衣装を着た少女たちの華やかさで観るものを楽しませてくれました。

第二部は、パネルディスカッション「みんなが住みやすいまちへ～私の子育てから見えること～」を行いました。外国人市民が増加するなかで、町田で出産・子育てをする方も多くなっています。今回は、町田及び近隣で子育てをしている方3人のお話を伺いました。習慣や文化が異なり、相談する人も少ない日本での初めての出産・子育ては多くの戸惑いや苦労があったようです。それらを各人がそれぞれの経験から話してくれました。客席とのディスカッションもされました。今後、さらに外国人市民が多くなると予想されます。だれもが「住みやすいまち」に向かっていくにあたり、今回の3人の話が大いに役立つことと思います。(5ページに参加者の感想があります。)

国際理解部会 荒明 美奈子



ぼろんていえ

Volontiers! の由来：誘われたとき、頼まれたとき「喜んで！」と笑顔で応えるフランス語

町田国際交流センターではボランティアを中心に、日本にいる外国の方を支援したり、コミュニケーションの活性化をはかるなど、様々な活動を行っています。

国際交流事業やボランティアのお問い合わせは、町田国際交流センターまで (詳細▶5面)

新スタッフ紹介



中村 明子さん

出身

中国・山東省

趣味

映画鑑賞

私は今年の4月から町田国際交流センターで働くことになりました。まだ色々と仕事を覚えているところですので、職場の方々やボランティアの皆様から多くのことを学んでおります。

私が最初日本に来た時、町田国際交流センターで色々お世話になりました。今度は職員として外国人や国際交流に関心があるボランティアの皆様のためにお役に立てればと思っております。

国際交流センターでは日々、さまざまな国から日本に来ている外国人の皆様や熱心なボランティアの皆様と出会うことができ、とても充実した時間を過ごせることが嬉しいです。

近年ますます多くの外国人が町田市に住むようになり、外国の方々や国際交流に興味があるの方々へお手伝いができるよう頑張っていきます。よろしくお願いします。



李 凌潔さん

出身

中国・湖南省

趣味

旅行

最近の取り組み

育児を楽しく
頑張っています。

こんにちは。町田国際交流センターの李 凌潔（りょうけつ）です。出産・育児休暇を経て、元気に職場に復帰しました。

私は2007年に留学生として来日し、2008年に臨時職員として町田国際交流センターに入りました。当時の私は世間知らずと言っても過言ではない甘えん坊でしたが、国際交流センターの職員とボランティアの方々いろいろな教えていただき、今の自分に至りました。この11年間で、学業を終えて社会人になり、結婚して出産を経験、立場も学生から母へとガラッと変わりました。

日本に来てから、楽しいことがいっぱいありましたが、外国人として生活上の悩み事等もたくさんありました。今までの経験を生かし、地域在住の外国人のために何かできないかと日々考えています。また、大学で日本語及び日本語教育を専攻としたこともあり、今までに勉強したことを国際交流センターの諸事業に生かせるよう、頑張ります。

これからも、どうぞよろしくお願いします。

— お詫びと訂正 —

本誌、2019年5月、Vol.110号に掲載しております1面に、下記につきましては字句の誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。【誤：おあかめ→正：おかめ】



KOKUSAI インタビュー

INTERVIEW

今回は、パトリシア マルティンさんにお聞きしました。

Q お国はどちらですか？

スペインから来ました。バレンシアです。オレンジがおいしいです。まず、仕事のため一人で来ました。

Q お仕事をされているんですね。

はい、電子機器の会社のエンジニアです。スペインで勉強してきました。いろいろなところで働きましたが、日本の会社は楽しいです。今のセクションでは外国人は私一人です。仕事はすべて日本語です。日本語のメールがたくさん来ます。仕事の言葉などは決まっているので大丈夫です。日報も毎日、日本語で書きます。

Q それはすばらしいですね。ところで、最近結婚されたそうですね。

はい。とても楽しいです。主人は大学の先輩、スペイン人です。主人も日本が大好きです。主人の新しい仕事も決まり、最近、駅の近くの新しいアパートに引っ越しました。

Q 楽しい新婚生活でしょうね。昨年、日本語発表会で発表しましたよね。いかがでしたか？

これも楽しかったです。最初はドキドキしましたが、みんなが一生懸命聞いてくれているのがうれしかったです。主人も会場にいて、顔をみたら、少し落ち着きました。また、参加したいです。

Q 最後に故郷のよいところを教えてください。

バレンシアはパエリアの発祥地です。チキンやウサギ、時々エスカルゴなどを使います。お米がとてもおいしいのでパエリアもおいしいんです。日本で見るとは少しちがいます。それと地中海の海がきれいです。アルブフェラというところの夕日はとてもきれいです。水鳥もたくさんいます。

ありがとうございました。ぜひ、夕日をみながら本場のパエリアを食べたいですね。



アルブフェラの夕日



韓国語サークル

日韓関係は現在政治的に厳しい状況にありますが、一方で第三次韓流ブームともいわれ、東京の新大久保地区には多くの若い女性達が訪れ、賑やかで華やかな雰囲気があふれ出ています。「K-ポップを韓国語で歌いたい」「韓国ドラマを字幕なしで理解できるようになりたい」「韓国を旅行して韓国語をしゃべりたい」などの理由で韓国語を勉強したい人が増えています。

今年度も4月13日、韓国語入門講座と初級講座が開講しました。教室の定員の関係もあり入門が27名、初級が30名の出席者で始まりました。先生はそれぞれ

宋（ソン）先生、崔（チェ）先生、という素敵な女性の先生で毎回楽しく授業をしていただいていますので受講者の皆さんにも好評です。

また、語学以外の韓国文化を理解するために、今年度も韓国料理教室の開催、韓国語で歌を歌ったり、日本のすごろくのようなユンノリという韓国の遊びをしたり、韓国の祝日や韓国紙幣の肖像画の説明など、幅広く韓国文化を学んでもらおうと計画を立てています。

韓国語コーディネーター 佐藤 佳則



韓国語サークルの様子

石坂市長表敬訪問

町田市役所 4月9日

一般財団法人町田市文化・国際交流財団鷺北理事長をはじめ、事務局及び国際交流センターの7つのボランティア部会の部会長・副部会長と「子ども教室」、「まちだへようこそ!! 外国語で Omotenashi PJT」の担当者、総勢19名で町田市長を表敬訪問しました。

当日は、鷺北理事長より新年度の挨拶で始まり、各部会の部会長・副部会長からの自己紹介の後、それぞれの部会の日頃の活動内容を紹介しました。

石坂市長から「市民参加のボランティアは、これからも町田市の地域振興の一翼を担って欲しい」という言葉がありました。この言葉を踏まえ、国際交流センターのボランティア活動も町田市にとり必要不可欠であることを強く感じました。

限られた時間ではありましたが、市長と懇談し、国際交流センターとして、今年度もボランティアの皆さん一人ひとりの力を合わせて、支援・交流の輪を拡げていきましょう。

事務局 王 莉莉



市長を囲んで

今回も町田市役所1階ワンストップロビーの一角にある明るいガラス張りの「イベントスタジオ」で町田国際交流センターの活動を紹介しました。今年で第4回目となる会場では、色とりどりの台紙に、今までの活動記録や、当センターの活動と今後の目標などが、80インチモニターによる映像とともに、通りがかりの人の目を引いていました。会場内では熱心にパネルを見る方を始め、以前ボランティアとして我々

の仲間だった人も来訪し、昔話に花を咲かせていました。昨年の20周年の記念行事のパネルと、センターの今までの活動を写真で展示し、国際交流センターの20年の歴史を見ていただくものとなりました。今秋には和光大学ポプリホール鶴川の交流スペースでも「来て見て知ってみよう 町田国際交流センター」を行う予定です。

広報部会 永井 光夫



会場の様子



様々な展示▶

1 ページ「外国のダンスとお話と」の感想

参加者のアンケートからいくつかを紹介します。

- ・異文化のダンスを見ることでその国の歴史を知ることができました。
- ・私達が当たり前に思っていることが、外国の方にとっては厳しい状況が多々ある事に改めて気付かされました。
- ・もっと大きな企画で多くの人に見て聴いてもらえたら良いのになと思いました。
- ・このような講演会に日本人も積極的に参加して、これから多くなるだろう外国人との共生社会に向けて、理解を深め伝えていくことが大切だと思いました。

NPO日本ペルー共生協会(AJAPE)

NPO日本ペルー共生協会(AJAPE)の高橋悦子副会長にお話を伺います。

Q: AJAPEとはどんな団体ですか?

A: アハペ(AJAPE)とは日本ペルー共生協会(Asociación Japonés Peruana)のアルファベットのイニシャルを取った略称です。広く一般市民を対象として我が国に滞在するペルー及びラテンアメリカ出身、またはその子どもが日常生活を営むうえで、彼らのアイデンティティーを守りつつ我が国の秩序、ルールに従って日本人と平穏に共存することができるようし、国籍を問わない真に友好的で豊かな共生社会の実現に寄与することを目的として活動を行っています。特に子どもたちの教育に重きをおいています。

Q: いつから活動しているんですか?

A: 1999年8月に在日ペルー領事館の声かけにより、日本ペルー共生協会(旧略称アペハ)が誕生しました。その後2005年に日本ペルー共生協会を法人化し、新略称をAJAPE(アハペ)とすることにしました。2006年7月に定非営利活動法人の認証を受けました。

Q: どんな活動をしているんですか?

A: 子どもの教育に特化した活動をしています。スペイン語圏の子どもたちへの日本での学校学習支援をしています。日本語での学習はとても大変です。日本語を学びつつも母語や母文化も大切に、誇りを持つように指導しています。子どものアイデンティティーを大事にするために、保護者へのサポートも大切なことです。親の理解や協力があって、子どもたちがみんなから大切にされているという事が自覚できるわけですので。教育システムの違いや学校行事の違いなど、わからないことばかりです。それを親と一緒に理解してもらうわけです。

Q: たいへんですね。親の考えもいろいろでしょうね。

A: そうなんです。でも親の理解協力がないと子どもにそれがわかってしまいます。親子の断絶がおこりかねません。親へのサポートがとても大切です。

Q: 今後の活動はどうですか

A: 今年はペルーのダンスのなかの「トンデロダンス教室」を始めます。母国のダンスをすることで母国を理解し、ダンスを認められることで母国に誇りをもつようになります。また、親も子どもたちが母国の文化を知る事をととても喜んでいきます。親子で母国の誇りが共有できるわけです。

Q: すばらしいことですね。日本に住みながらも自分のルーツである国に誇りをもてるのは大切なんですね。

A: その他に、親への日本語教室も行っています。また、スペイン語ネイティブ話者によるスペイン語講座も継続して行っています。

Q: ありがとうございます。子どもの教育はとても大事な事だと思います。今後のますますのご活躍をお祈りします。



編集後記

世の中、どこもかしこも人手不足で大学生の就職活動も空前の売り手市場だとか。外国人にも就職の門戸が広がり、日本の経済はもはや日本人だけでは成り立たず、就職口として外国人から選んでいただかなければならない時代になりました。待っているだけでは誰も来てくれませんよ。そうそう、他人事ではない、わが広報部会も人手不足で困っているんだ。働き方改革しますから、どなたかいっしょに『ぼろんていえ』を作ったり、地域のイベントで活動しませんか? 年齢、性別、国籍、不問。要「やる気」。お待ちしております。

生涯学習センター主催
子どもも学べる平和イベント
ドキュメンタリー映画
「南の島の大統領ー沈みゆくモルディブー」上映会

地球温暖化の影響で国土水没の危機に瀕しているモルディブ共和国。独裁政権を終わらせ、若くして大統領に就任したモハメド・ナシード大統領が、気候変動を食い止めるため、世界で奮闘するドキュメンタリー映画です。解説も行います。

対 象 どなたでも

日 時 2019年8月7日(水)

①午前9時30分～

②午後2時～

(開場は各回30分前)

会 場 生涯学習センター7階ホール

定 員 158名

申 込 申し込みは不要です。

当日、会場にお越しください。



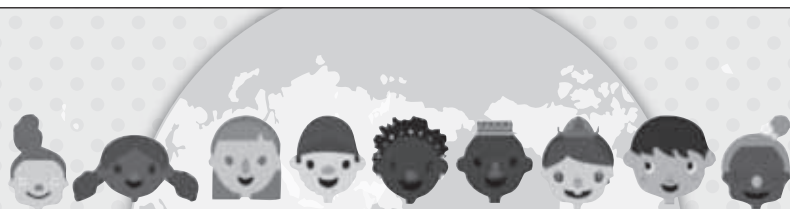
※写真はイメージです

問 い 合 わ せ

町田市生涯学習センター

〒194-0013 町田市原町田 6-8-1 TEL 042-728-0071 FAX 042-728-0073

休館日 毎月第4月曜日(祝日の場合は翌日) および年末年始(12月29日～1月3日)



ホームページをご覧ください!!

アドレス <http://www.machida-kokusai.jp>

新しい情報がいっぱい!!

町田国際交流センターのホームページでは、センターが開催する講演会や外国人向けの相談会のお知らせのほか最新の情報を提供しています。

また外国語版のページでは、「日本語教室」など、外国人の方々が地域で暮らすのに必要な情報を英語で提供しています。

今後も楽しいコンテンツづくりを目指していきます。是非、ご活用ください。

(一財)町田市文化・国際交流財団
町田国際交流センター

〒194-0013 東京都町田市原町田4-9-8 町田市民フォーラム4F
TEL 042(722)4260 FAX 042(722)5330

<http://www.machida-kokusai.jp>

E-mail:info@machida-kokusai.jp

事務局からのご案内・募集

夏休み「キッズ英語」

～外国人講師と一緒に英語を楽しもう～

歌やゲームなどのアクティビティーを通して、楽しく英語に触れていきます。
英語に慣れ親しむきっかけとして、是非楽しいワークショップにご参加ください。

■対象： **A・Bコース** 小学校1、2年生 **C・Dコース** 小学校3、4年生

■日時：
【**A・Bコース** (A・Bともに同じ内容です) 8月19日(月)、20日(火)】
Aコース：9:30～10:30 Bコース11:00～12:00
【**C・Dコース** (C・Dともに同じ内容です) 8月21日(水)、22日(木)】
Cコース：9:30～10:30 Dコース11:00～12:00

■定員：各コースそれぞれ25名(応募者多数の場合は抽選)

■参加費：500円

■会場：町田国際交流センター(住所は下記の通り)

■申し込み方法：ホームページ内「キッズ英語」申込欄、或いは下記メールアドレスに

①住所 ②保護者氏名 ③児童氏名・フリガナ・小学校名・学年

④電話番号 ⑤英語経験の有無 ⑥参加したいコースをご記入の上送信してください。

申込email: info@machida-kokusai.jp

■締切：8月8日(木)

■お問合せ：町田国際交流センター TEL: 042-722-4260 〒194-0013 町田市原町田4-9-8 町田市民フォーラム4F



小学生のための国際理解体験 世界がもし100人の村だったら!

世界にはいま72億人の人がいます。

それを100人に縮めてみたらどうなるでしょう?

世界を1度小さく見てみることで、大きな世界がもっとわかります。

楽しいゲームをしながら多様な世界、格差のある世界について学びます。



■日時：8月22日(木) 13:30～16:00

■会場：町田国際交流センター ■参加費：300円

■対象：小学校1～6年生

■定員：30名(応募者多数の場合は抽選)

■会場：町田国際交流センター(住所は下記の通り)

■申し込み方法：ホームページ内「小学生のための国際理解体験」申込欄、或いは下記メールアドレスに

①住所 ②保護者氏名 ③児童氏名・フリガナ・小学校名・学年 ④電話番号 ⑤食べ物アレルギーの有無をご記入の上送信してください。申込email: info@machida-kokusai.jp

■締切：8月13日(火) 定員に満たない場合は中止になることがあります。

■お問合せ：町田国際交流センター TEL: 042-722-4260

〒194-0013 町田市原町田4-9-8 町田市民フォーラム4F